

学校図書館活性化推進事業「根室管内学校図書館関係者研修会」事業報告

学校図書館の効果的な活用や魅力ある学校図書館づくりなどを目的として、学校関係者や公立図書館職員などを対象に、研修会を実施しました。

25名が参加し、子どもにとって一番身近な図書館である学校図書館の一層の充実について研修を深めました。

【研修会概要】

- 日時 平成27年8月18日（火）10:00～15:30
- 会場 別海町立野付中学校



【講義】「今、求められている学校図書館」

■講師

全国学校図書館協議会スーパーバイザー
大久保 雅人 氏



■内容

○「学校司書」法制化について

- ・「学校図書館法の一部を改正する法律（平成27年4月1日施行）により「学校司書の法制化」が実現することとなった意義は大きい。
- ・「司書教諭」と「学校司書」の配置に向けた新たなスタートと言える。

○学校図書館に求められていること

- ・「言語活動」を支える条件として、教材の充実、『読書活動』の推進、学校図書館の活用や学校における言語環境整備が重要である。
- ・「読書活動」「学校図書館を活用した学習活動」は読解力及び思考力・判断力・表現力を培うために最適なものとする。

○学校図書館と公立図書館の連携の在り方

- ・子どもの望ましい読書環境づくりに向けては、学校図書館と公立図書館との「連携」が不可欠であり、今後は、「連携」から一歩進めた「協働」した取組をそれぞれの立場で推進していくことが必要である。（地域における図書資料の資源共有等）

【事例発表】学校図書館の効果的な活用

■事例発表者

別海町立別海中央小学校教諭
中野 幸治 氏



■内容

- ・子どもが図書館に足を運びたいくなるような環境づくりを目指し、図書館の装飾、特集コーナーづくりなどの環境改善の取組について紹介。
- ・読書ボランティアと学校が連携した子どもの読書活動の取組について紹介。

■事例発表者

羅臼町公民館図書係長
菊地 理恵子 氏



- ・「読書が好き」という子どもを育てる公立図書館からのアプローチ
- ・学校、読み聞かせボランティア、図書室の3者連携による読み聞かせ事業の取組について紹介。
- ・授業に必要な資料を整え、学習支援を行うとともに、学習の成果物を公民館ロビー等に展示する等、学校と公立図書館が連携した取組について紹介。

【説明・演習】魅力ある学校図書館づくり

■講師 道立図書館総務企画部企画支援課企画主幹
中田 こずえ 氏

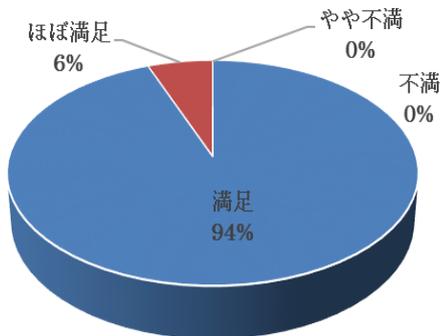
■内容

- ・子どもが集まるような図書館づくりに向けたリニューアルポイント
① 図書の更新 ② ディスプレイ ③ 表示装飾 ④ レイアウト
- ・定期的に図書館の点検を行い、学校図書館図書廃棄基準を参考にし、内容が古い本は除架（書棚から取り除く）する必要がある。
- ・除架により空いたスペースを使って、本の表紙を見せるようなディスプレイをするなどの工夫が必要である。



【研修会参加者の感想】

本研修会は、満足できるものでしたか？



- 講演にもあったように、学校図書館をなんとかしたい・・・という思いはあってもなかなか動き出せずにいたのが現状だったので、今回は、学校図書館を有効に活用するための具体的な手立てをたくさん学ぶ事ができ良かったです。
- 学校図書館に求められる役割、図書館の効果的な活用の仕方など、今まで知らなかった知識をたくさん得ることができました。
- 他校等の実践事例は特に参考になります。身近なところから真似をしていきたいです。実際にやってみよう！と思いました。
- 子どもたちが親しめる図書館にするためディスプレイを工夫していく必要があると強く感じました。
- 他校の先生方といろいろな情報も交流できて良かったです。今後もこのような機会が持てると良いなと思いました。
- 子どもたちの読書活動を推進するために、自分の学校へ持ち帰り、すぐに行動したいと思います。ありがとうございました。